

# JA種子屋久自己改革の取り組み報告

JA種子屋久では、「自己改革実践サイクル」に係る3つの方針を整理し、6月開催の総代会において「自己改革取組宣言」を決定しました。方針の1つである自己改革を実践するための具体的な方針として「農業者の収入拡大・コスト抑制」につながる取り組みについて目標を掲げ、農業者の所得増大に取り組んでいるところです。

つきましては、令和7年度の現在の取り組み状況について以下のとおりご報告いたします。【3月末】

## ○さとうきびの単収向上

R 7推進目標	6.5 t	R 7実績	7.2 t
---------	-------	-------	-------

### これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・生産の維持・拡大に向けて、新植の推進、病虫害の適期防除指導、優良種苗の供給に取り組んだ。圃場巡回による適期管理作業の指導を図る。

## ○でん粉原料用甘しょの多収性品種推進による単収向上

R 7推進目標	65 袋	R 7実績	59.2袋
---------	------	-------	-------

### これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・基腐れ病対策の周知・指導の徹底、バイオ苗の普及促進、多収性品種の推進に取り組んだ。次年度に向けて、早期植付の推進、バイオ苗の普及、補助事業を活用した病害対策を講じる。

## ○低コスト肥料の取扱拡大を通じたコスト抑制

R 7推進目標	60,000 袋	R 7実績	56,530 袋
---------	----------	-------	----------

### これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・リッチシリーズキャンペーンの実施（200円/袋の値引）。各種予約申込書におけるリッチシリーズの記載。経済連肥料農薬課と連携したリッチシリーズの普及推進を行う。

## ○農業融資の拡大

R 7推進目標	325,000 千円	R 7実績	118,480 千円
---------	------------	-------	------------

### これまでの取組状況、課題と次期対策

- ・低利の農業資金活用を周知。（座談会・総代会・認定農業者総会・農機具展示会等）投資意欲の低下及びリース契約への対応が課題。各種事業補助残融資等行政と連携を図る。



獅子座  
7/23  
～8/22

【全体運】頭の痛い問題も起こりそうですが向き合って。逃げない姿勢が好展開をもたらします。動く前に情報収集  
【健康運】持久力アップの運動がお勧め。シェイプアップも◎  
【幸運を呼ぶ食べ物】ニンニク

JA たねやく  
2026.5

6